



TITLE:

北海道に於ける皆既日食遠征漫談 (續日食報告號)

AUTHOR(S):

水野, 千里

CITATION:

水野, 千里. 北海道に於ける皆既日食遠征漫談 (續日食報告號). 天界
1936, 16(185): 437-439

ISSUE DATE:

1936-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167324>

RIGHT:

北海道に於ける皆既日食遠征漫談

水 野 千 里

1. 旅 程

私は北海道函館に上陸し、札幌を経て釧路に至り、北行して上斜里を経て遠軽に達し、それから名寄、音威子府で乗換へ中頓別に着したのは、17日であつた。この處に3日間滞在し、濱頓別で下車し、バスで枝幸に行き一泊、枝幸からバスで小頓別に出で、旭川、札幌、小樽を経て黒松内から私設鐵道で壽都に手紙の友(未見の友人)を訪問し、25日青森に上陸、盛岡、東京及び京都に下車し、7月1日鳥城下の人となつた。

2. 日食ガール

年頃の2人娘、それが色が黒いので、或人がしやれて日食ガールと呼んだ。この2人は冷かされたとは知らず、或所で休息し相互に語つて曰く「私共は日食ガール！ 頗るモダンですネ！」何々。

3. 日食せんべい

日食饅頭、日食餅等々。日食にちなんだ食物に日食を冠したものが各地で賣られて居た。私は上斜里で日食せんべいを購入。京都花山天文臺其他の觀測隊を訪問して、6月19日の皆既日食が晴天で十分觀測出来る事を祈りながら各地の隊員と共にこのせんべいを食べた。

4. 生れて初めて通譯付の談話

私は生れて21064日目に上斜里で、英國觀測隊長ストラツトン博士と通譯付で談話を試みた。40餘年前に英語を習つたが、今まで英語教師以外の外國人と話したことはなかつたのに……。

5. 日食延期

或人が6月19日が曇雨天で皆既日食の觀測が出来なかつたら延期しては如何と……。又某は終日日食になつたら氷結するであらうと。皆既日食の時間は最も條件がよくても7分と40秒。先年スマトラで見たのは5分餘であつ

た。或時1秒半といふ皆既日食もあつた。多くの場所で晴天を神前に願つた。

片田舎の枝幸村に日食展覽會が催され、同地の小學校兒童は神社に日参して晴天を祈つた。それに反しアイヌの部落では曇雨天である様にと祈願をこめた所もあつた

6. 結 婚 洪 水

日食前に北見の國では結婚洪水が起つた。日食に會つて結婚しては不幸に終るから、その以前にといふので、年頃の善男善女が結婚を急いで、出雲の神様が大多忙であつた。これは世界に未だ嘗てなかつたことであるとか。

7. 日食スタンプ

皆既日食地帯にある停車場の多くは平常の記念スタンプの外に日食スタンプを作製して、その需めに應じ、觀測隊が位置したところにも日食スタンプを調製したところもあつた。北見國中頓別の如きは驛に2種類、郵便局に1種類あつた。中頓別では皆既日食マークをも作製して居た。枝幸郵便局では切手を貼付せねば記念スタンプを押さなかつた。甲の郵便局では勝手に押捺させ、乙の郵便局では有料とは?!.....

8. 握 手

上斜里の英國觀測隊長ストラツトン博士と握手し、中頓別ではチェツコスロヴァキヤ國觀測隊3名、オーストリア國觀測隊1名と握手した。殊に中頓別では3日間チェツコ隊、オーストリア隊、東京天文臺觀測隊、花山天文台觀測隊の人々と同一食堂で會食した。又内外人にサインして貰つたり、記念スタンプを蒐集し、記念帳が1冊見事に出來上つた。

9. 蜂に螫された

6月20日中頓別出發、濱頓別着、バスに乗つた際左手の拇指を蜂に螫され、枝幸でアンモニアを澤山つけ過ぎて、餘儀なく繃帶をせなければならなくなつて、10餘日後の今日に至つても未だ全癒しない。日食記念に繃帶とは面白くない。

10. 皆既日食觀測中失敗の數々

日食中に樹木の影を見落した。皆既直前に數秒間見えるベリリのビード、閃光、第1ダイヤモンドリング等何れも見んと欲して見ることを得なかつた。

部分食が進むにつれて、次第に暗くなつて行くので、鳥は時に急ぎ、雞は曉ならぬ曉を告げ、梟は鳴き、蛙も騒ぎ出し、気温は8度も低下し、皆既日食の1分数十秒間プロミネンス、コロナはよく観えたが實に凄味を帯び、陰性であつた。生光と同時に第2のダイヤモンド・リングは美觀、壯觀で今迄の陰氣は吹き飛ばされ、陽氣に朗かになつた。某老人は初虧から食甚、生光、復圓に至る迄、燻し硝子を通して一寸も目を他に移さず眺めた。

此度の日食で常に地面許り見て仰いで空を滅多に見なかつた何千萬、何億の人々が空を見上げたので、太陽や月や星々はさぞ驚いた事であらう。

大連支部だより

◎大連支部強化 目下理想郷に向ひ突進中です。當地の渡邊精吉郎氏と共に積極的に運動する筈で、本部を大連一中に置くことにしてゐます。過日私が同校で生徒に天文講演を致しました。皆熱心に聴いてくれました。

滿洲は大阪と違つてとても天氣が良く、2ヶ月も雨が降らず晴天で居ると云ふ事が幾度もあるそうです。空氣が澄んで居るため銀河などとてもよく見え、六等星は完全に見えます。大阪のドス黒い所に住んで居た私にはほんとうに嬉しく思つてゐます。こゝに大阪、京都のやうな有力な支部が出来、お互ひによく楽しむことが出来れば、どんなに楽しいことかと思ひ、斷然支部強化に邁進してゐます。場所は一中を借りられるので安心です。而し何分にも會員が少なく心細い次第ですが20人までは何とか得ることと思ひ、目下滿洲日々などに書立てゝ天文知識を煽りたてゝゐます。何れ又吉報御通知申上げることと思ひます。是非共京都、大阪兩支部及び本部の協力がなければなりませんので、よろしく願ひ申します。

目下、梅雨期に入り本月20日より晴天を見せず弱つてゐます。大阪や京都兩支部は盛んでせうね。美ましく思つてゐます。(下略)

7 月 27 日

大連にて 地方委員 河合孝一